

企業ファイル

リニア中央新幹線 東京—大阪間67分 建設費8兆4400億円と試算

JR東海

JR東海は10月13日、リニア中央新幹線の東京—大阪間の需要量や建設費の試算を発表した。同社が想定する直線ルート(438km)では建設費は8兆4400億円、所要時間は1時間7分。一方、長野県が望む南アルプスを迂回(うかい)するルート(498km)では建設費9兆900億円、所要時間は1時間14分となった。

試算では、東京や神奈川などの首都圏から新たな交流人口が、業務目的で1日平均約1万4700人、観光目的で約5100人増える。企業の年間生産額は製造業で約50億円、サービス業で約41億円増加するとした。全産業では146億円の増加が見込まれ県内企業の総生産額は0.2%上昇するとい

今回の試算では、東京—大阪の開業は2045年ごろと想定。輸送人数に距離をかけて算出する需要量は、直線ルートが年416億人、迂回ルートは所要時間が直線ルートよりも7分多くかかることから392億人キロにとどまると見込んだ。

同社は今回の試算結果などを踏まえて今後長野県などから直線ルートへの理解を得たい意向だ。

一方、山梨県は翌14日、リニア中央新幹線が東京—名古屋間で開通した場合の経済効果が少なくとも年間146億円に上るとの試算(中間報告)を、同県リニア建設推進本部会議で明らかにした。沿線の都県では最も大きい影響を受けるとい



全国で愛と平和の チャリティーコンサートを開催

明治安田生命保険

明治安田生命保険は、「愛と平和のチャリティーコンサート2009」を福島、広島、熊本で開催する。01年から東京で開催してきたが、8回目を迎える今年から開催地域を拡大した。

公演翌日には開催地近郊の小・中学校で、音楽家の三枝成彰氏による出張授業を開催。音楽に関する講義や子供たちと一緒に合唱、合奏を予定してい

る。コンサートでのチャリティー募金は、日本フィランソロピー協会を通じて子供の健全育成などを目的に活動しているNPO団体などに寄付する。▽12月8日▽郡山市民文化センター大ホール(郡山市堤下町)▽1月19日▽ウエルシティ広島(広島市中区加古町)▽2月1日▽熊本県立劇場コンサートホール(熊本市大江)

新丸の内ビルに次世代低炭素型技術の 実証オフィス設置

三菱地所

三菱地所はこのほど、大手町・丸の内・有楽町のまちづくりの環境戦略拠点として新丸の内ビル10階に開設した「エコツェリア」に、「次世代低炭素型技術実証オフィス」を設置した。写真。

エコツェリアは07年5月、産官学民が連携してエコに関するノウハウやコンテンツの情報発信とイベント開催などを目的に発足した。運営は一般社団法人「大丸有環境共生型まちづくり推進協会」(理事長・伊藤滋早稲田大特命教授)が行っている。

実証オフィスでは執務環境の2大機能である「照明」と「空調」に最新機器を導入。快適性と省エネルギー性を追求するために1年間、約10人のスタッフが日常の仕事を通して電力消費量などを計測し専門家による性能評価を行う。

照明には明るさや色などを各人のパソコンで調整できる知的照明システム、空調は天井と壁面の輻射パネルと床吹き出し、熱をさえぎる自然光を取り入れる高性能窓システムを組み合わせている。